

初心に帰ったボランティア

米沢 直子

ボランティアに参加するようになり三年が経ち、今回六回目の参加となりました。

Quang Ninh 省での活動に参加させてもらう事が多く、Quang Ninh 省のドクター、ナース、関係者の皆さまとも顔見知りになり、活動中も仕事を頼んだり頼まれたり、流れもつかむ事が出来るようになり、とてもものびのびと活動をさせて頂いていました。

そんな中、今回は初めてホーチミンでのボランティア。新しい職場で働くような気持ちで、少し緊張しながらの参加でした。いつもは車に一度詰め込むだけの荷物も、飛行機での移動となると一日で四回の積み下ろし

作業。飛行機と車での長時間の移動。とても暑いホーチミンでは、それだけでも大変な作業でした。今回とても印象的だったのが、現地のスタッフの方が手術中の患者さまの手を握ったり、安心するように声かけをされていた事です。私の働いているクリニックでは人員不足という理由で緊張されている患者さまの手を握ったりという緊張を和らげるケアをする余裕がなく、自分のクリニックでの働きを改めて考えさせられました。

またハノイとホーチミンでは色々やり方が違い、戸惑うこともたくさんありましたが、ボランティアの初心に帰ったような気持ちで参加する事ができました。

新しい場所で活動するというのも、新しい出会い、新しい発見があり、とてもいい経験になりました。

次回は 10 月。私にボランティアの楽しさを教えてくださった祐子さんとの参加と、「直子ちゃんが次来る時に復帰する！」と言ってくださった Hop さんとのボランティアが実現するのを楽しみにしています。